

佐賀小学校が和紙の卒業証書を制作中

12月14日、佐賀小学校で「1日先生」が行われました。この日は、保護者や地域の方が先生となって学年ごとに授業が展開されます。

来年度卒業を迎える6年生の授業では、町内で和紙作りを行う中嶋久実子さん（和紙ハレハレ本舗）を講師に迎えた卒業証書の制作が計画されていました。

作業前に中嶋さんから「君たちの住んでいる佐賀（拳ノ川）では、明治時代には楮の栽培が盛んで、その品質は全国でも1番の評価をもらっていたんだよ」という説明に「え〜！」「そうながやあ」と子どもたちから驚きの声があがっていました。



楮から和紙になるまでの作業工程と皮の剥ぎ方の説明を受ける子どもたち。「難しそう、できるだろうか…」

子どもたちから驚きの声があがっていました。

しかも、かつて佐賀地域で行われていた紙漉きの卒業証書づくりが、20年振りに復活し、親子2代にわたって和紙の卒業証書制作をするという記念の日にもなりました。

この日は、和紙の原料となる楮の皮をはぎ、白皮にする作業を行いました。

楮は事前に蒸されて、柔らかく皮がはぎ易くはなっているものの、子どもたちにとっては初めての作業。中嶋さんに教わりながら、恐る恐る、破れないように慎重に作業しました。2時間かけて、約70キロの楮の皮をはぎ終えました。次回1月中には、中嶋さんの作業場（口湊川）で紙漉きが行われます。



楮の皮をはいたら表面の茶色い皮を専用の道具を使って削ぎます。簡単なようで、なかなか手間のかかる作業。頑張ってます！

南郷小学校 収穫祭 三世代ふれあい参観日

11月30日、南郷小学校で収穫祭と三世代ふれあい参観日が行われました。

南郷小学校では、毎年、地域の方に協力を得て、各学年で農作物の生産活動に取り組んでいます。今年も、ダイコン（1年生）やサツマイモ（2年生）、シシトウ（3年生）やニガウリ（4年生）、お米（5・6年生）をそれぞれ育て収穫しました。

収穫祭では、5年生が中心となって作ったお米の販売収益で材料を購入し、保護者や地域の方たちといっしょにお餅やちらし寿司や豚汁を作り、みんなで会食をして収穫を祝いました。



今年は保護者の方にいただいたもち米で、お餅つきも楽しめました

午後からは、鞭地区の「南郷の子ども見守り隊」と浮津地区の「南郷の子どもを育てる会」が中心となり、子どもたちに竹を使った昔ながらのおもちゃなどをいっしょに作り、遊びを教えて交流が深められました。

南郷の子ども見守り隊の代表である出島重幸さんは「子どもたちを犯罪から守り、交通の安全を確保したいという思いで通学路の街頭見守りなどを行っています。地域の身とな大人として、子どもたちとつながりを持てるように、今後も活動を広げ、続けていきたいと思う」と話してくれました。



ペタンク



ぴっちょごま



手作りお箸



竹うま

八野で観光地引き網イベント

11月22日、入野海岸（宮川公園前）で「地引き網」が行われました。

これは、黒潮町の地域資源を生かす取り組みのひとつとして、昔行われていた沿岸での地引き網を復活させようと、黒潮町観光地引き網伝承会と高知県漁協入野支所によって実施されたものです。当日は暖かい気候の中、約60人の参加者が集まり、沿岸からふた手に分かれて網を引き揚げました。

寒い時期にもかかわらず、150キログラムほどのイワシが獲れました。近く、入野の浜で観光客や地元の子どもの地引き網を引く光景が見られるかもしれません。





室内で手軽にできる「チャンスボール」競技をしました。得点ゾーンを狙いスティック(ゴルフクラブのようなもの)を使ってボールを転がします。



1分間のうちの跳んだ回数を競う「1分間縄とび」では、最高ジャンプ数は180回でした。



決められた時間内に空き缶を積み上げて高さを競う「空き缶つみ」。崩れないように慎重に！

「第3回スポーツフェスタ・黒潮」開催

11月24日、土佐西南大規模公園園大方地区体育館で第3回スポーツフェスタ・黒潮が開催されました。当日は、あ



100食(人)限定でうどんの早い競争もありました。お昼の時間、いっぱい遊んだあとは食が進みます！！



同日開催された「第1回わなげ大会」です。3~5人で1組の団体競技。点数が付いた杭を狙って、9つの輪を仲間と交代で投げ、大量得点を狙います。



ちょっとユニークな競技「うめぼしの種とばし」。口に含んだうめぼしの種を遠くまで飛ばします。

にくの雨でグラウンドゴルフやバタンクなどの屋外競技は行うことができませんでしたが、約120人の参加があり、体育館内で、子どもも大人もいっしょにスポーツや遊びを楽しみました。

第3回小学生俳句大会
入賞作品の紹介

うたの道づくりの会(小野義廣会長)の第3回小学生俳句大会が行われました。

子どもたちに俳句づくりの楽しさに触れてもらおうと今年で3回目となった俳句大会には、町内の小学校7校(田ノ口小学校・三浦小学校・入野小学校・南郷小学校・伊田小学校・伊与喜小学校・拳ノ川小学校)173人の児童から計385句の応募があり、11月22日には土佐西南大規模公園(大方地区)で入



特選

- 第一席 ハイジャンプ 秋風の中 再挑戦
三浦小学校4年 井上 聖也
 - 第二席 イナズマが 空の大地を かけぬける
伊田小学校4年 相牟田とわ
 - 第三席 はっぱとみひろ っつて つくった おにんぎょう
南郷小学校1年 まつい ゆうり
- 秋風が タイムを上げる 百メートル
田ノ口小学校6年 徳広 裕哉

賞者への表彰式を行いました。応募された全員の俳句は、公園内の『うたの柱』に順番に展示される予定です。

入賞

- 秋のいば 生まれたばかり 小さいよ
伊田小学校6年 沖 宗矢
- 風ふいて 葉がころころ 坂道を
田ノ口小学校6年 坂本 舞香
- 赤とんぼ いっしょに帰ろう 家路まで
伊田小学校6年 宮地 由季
- さんまやき においつられて ねこねらう
入野小学校6年 坂山 大樹
- コスモスよ 風にゆられて どんな気分
拳ノ川小学校5年 松本 開
- どんぐりを ビカビカにして コレクション
伊与喜小学校4年 西 美登
- 秋の空 青くきれいに すみわたれ
三浦小学校4年 金子竜之伸
- ひがん花 真っ赤にさいて 火の形
三浦小学校4年 吉尾 大成
- 秋になり みんなのきずな 深まるよ
拳ノ川小学校4年 大谷 琴湖
- でっかいも 力いっぱい ぬいたんだ
南郷小学校2年 市川ゆうげん

スポーツ結果(陸上)
第20回幡多地区小学生大会
兼第2回幡多地区記録会
(11月20日・宿毛市)

- 【小学生】
- 男子80メートル障害 5・6年生 1位(14秒17) 敷地 将(大方JAC)
 - 男子400メートルリレーベスト 1位(58秒32) 入野JAC・A
 - (澳本・武田・宮地勇・宮地真) 男子ボール投げ5年 1位(50メートル21) 澳本 幸大(入野JAC)
 - 女子1000メートルベスト 1位(3分22秒61) 酒井 愛莉(大方JAC)
- 【一般】
- 男子走り高跳び 1位(1メートル80) 弘瀬 将利(大方中)
 - 女子1000メートル 1位(13秒81) 松井 芽生(中村高)
 - 女子100メートル障害 1位(17秒90) 松本 万智(大方中)
 - 女子走り幅跳び 1位(4メートル81) 松井 芽生(中村高)



11月18日の「土木の日」にあわせて、町内建設事業所で組織されている黒潮町建設協会のみなさんが町道周辺や公園（町道湊川線・厳島親水公園など）のボランティア清掃を行っていただきました。町の環境美化に貢献いただき、ありがとうございます。

また、町内にはロードボランティアとして、8月10日「道の日」やそのほか定期的に国道や町道のゴミ・空き缶拾いや植栽などの美化活動に努めてくださっている建設事業所や活動団体、個人の方々がたくさんいます。

自分たちの通る道、住むまちの景観を、これからも、みんなでも守り続けていきたいものです。

土木の日に道のボランティアをしていただきました

現在、幡多地区の登録者数は17人、事務局を黒潮町内におき、定期的に県内4カ所（須崎・大豊・田野・安芸）のサポートステーションで出張相談も受け付けています。

「無業・失業状態から一歩踏み出すきっかけとして利用してもらいたい。現在の社会

平成20年6月に、黒潮町に設置された「高知黒潮若者サポートステーション」は、NPO青少年自立援助センター（東京都福生市）が厚生労働省から委託を受けて事業を実施しており、同事業として黒潮若者自立塾（馬荷地区）を開設し連携して就業へのサポートを行っています。

サポートステーション事務局には、3人のスタッフが常駐し、利用者の状況に合わせて、面接やカウンセリング、適職診断やパソコン操作の練習など仕事につくための必要な準備をいっしょに行っています。利用者間の交流を深めるため、お菓子や雑貨づくりなども企画されています。

高知黒潮若者サポートステーションを「存し」ですが



仕事につくために、人によって技術的なことや心の面でも準備するものが違います。サポートステーションをハローワークの一步手前の段階、就職への通り道として気軽に利用してほしいです。希望があれば家庭訪問も行っています。

状況や若者を取り巻く環境は厳しく、就業への道は容易ではありませんが、いざ働こう！とした時にその準備ができていないといけません。働けない、働かない、理由は人それぞれでしょうが、いずれは自立、自活した生活を送らなければなりませんよ。ひとりでは悩んでいる方、お家の方、サポートステーションの来訪さえもためらっている方がいれば、一度お電話で相談をいただけたらと思います」と、事務局の山本さんからお話をいただきました。

○お問い合わせ
高知黒潮若者サポートステーション(事務局)
(月・火・祝日休み)
☎ 43-2320
kuroshio-yss@navy.plata.or.jp
http://kuroshio-yss.blush.jp

国土交通省「半島地域づくり会議in幡多」が開催されます！参加者募集中！

幡多地域(3市2町1村)を舞台に開催される「半島地域づくり会議 in 幡多」は、全国23の半島地域で地域活性化に取り組む人々が集まり、幡多の海、山、里を題材として、地域づくりのあり方を楽しく学びあい、語りあう場です。幡多地域の皆さんで盛り上げてください。

- **1月31日(土) 現地体験を通じて地域づくりを考える『フィールドワーク』**
幡多地域内3地区でフィールドワークを実施します。参加には事前の申込が必要です。
- **2月1日(日) 幡多地域の魅力を語り尽くす『全体会議(徹底討論)』午前10時開演**
場所/ふるさと総合センター
『幡多らしさ・半島らしさを表現する～柔軟でしなやかなネットワークをめざして～』と題した徹底討論を行います。「苺氷り本舗(株)」の野村満久さんや「四万十ドラゴンラン」を運営する宮崎聖さんをはじめ、幡多地域の元気づくり、魅力づくりに取り組む方々が多数登場します。
- ※ **2月1日は『ファーマーズ・マーケットin幡多』を同時開催(午前10時～午後2時)**
幡多地域初の『ファーマーズ・マーケット in 幡多』が開催されます。幡多地域で安全・安心なホンモノの食づくりをめざしている農家や個人、団体が多数出店する予定です。食べ物だけでなく、工芸品などの特産品、展示など、幡多の元気、魅力がいっぱいです。ぜひお気軽にご来場ください。

詳しくは、半島地域の情報発信ホームページ「半島を行く」<http://hanto.jp>をご覧ください。申込用紙等がダウンロードできます。お問い合わせは「半島地域づくり会議in幡多」運営事務局[(財)日本システム開発研究所:03-5379-5932]まで。